

請 願 文 書 表

(令和2年2月26日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第7号(2.2.19) 神戸市敬老優待乗車制度・福祉乗車制度に関する請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>福祉乗車制度(福祉パス)は昭和43年に、敬老優待乗車制度(敬老パス)は昭和48年にそれぞれ制度が発足し、高齢者や障害者、母子世帯などの社会参画、移動支援に欠かせない制度になっている。</p> <p>神戸市は昨年11月に、敬老優待乗車制度・福祉乗車制度の今後の在り方について、制度の見直しを発表した。</p> <p>見直し案では、市民税非課税世帯で本人年収が120万円以下の人に交付されている敬老無料乗車券の廃止、敬老優待乗車証の利用者負担は全て小児料金とし、距離別運賃の近郊区での上限110円料金設定の撤廃、母子世帯を福祉乗車制度の対象から外すなど「弱い者いじめ」の内容になっている。</p> <p>敬老優待乗車制度は当初無料だったものが有料化され、今回の見直し案では敬老無料乗車券の廃止と近郊区の110円の上限撤廃で居住地域や低所得世帯に大きな影響がある。また、母子世帯を福祉乗車制度から外し父子世帯を含めた一人親世帯の高校通学定期券助成を行うとしているが、これでは高校生のいない母子世帯に対しては福祉乗車証の取上げでしかない。</p> <p>高齢者や生活困窮者にとって移動に要する費用は生計費の大きな部分を占めており、今回の見直しが実施されると外出や買物を控えたりすることが心配され、地域経済への影響も懸念される。</p> <p>神戸市はこのような見直しをやめ、市民の移動の自由を確保し、誰もが負担を感じることなく公共交通を利用できるように図るべきである。</p> <p>よって、以下のとおり請願する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 敬老パス・福祉パス制度の維持・拡充のため予算を増やすこと。 2. 敬老無料乗車券の廃止、近郊区の110円上限の廃止をしないこと。 3. 母子世帯を福祉パス制度から除外しないこと。
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 敬老・福祉パス制度をよくする会 岡崎史典 ほか4名 その他署名者あり(申告数8,688名)</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) 森本真 あわはら 富夫</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>予算特別委員会</p>